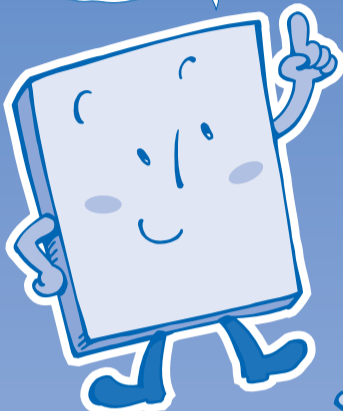


福岡地区生コンクリート協同組合の

お仕事

コンクリートがまだ柔らかい状態のものを生コンクリートと言います。協同組合のお仕事は、暮しに「安心と安全」をもたらす、信頼できる生コンクリートの安定供給です。工場で作られた生コンクリートをミキサー車で新鮮なまま工事現場へと運ぶことも重要な仕事の一つです。そこで受注から工事現場への輸送、洗車まで、わかりやすくご紹介いたします。

順を追ってわかりやすく説明するから、みんなしっかり読んでね。



工事業者さんから協同組合に依頼の連絡が入りました！

30分の輸送、30分の荷卸し、30分の余裕が実践できる工場を選定



選定工場と工事業者さんとの綿密な打合せ

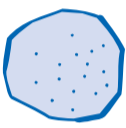


運ぶものは違っていてもお魚やお肉、野菜と一緒に鮮度が大切なんだ！

生コンクリートをフレッシュなまま工事現場まで輸送

1.セメント

骨材である砂や砂利をくっつけるのりのような役割があるんだ。



2.骨材

粗骨材(砂利)と細骨材(砂)に分けられて全体の約70%を占めるんだ。



3.水+混和剤

水に少量の混和剤を加えることで、品質を高めたり、特殊な性能を持たせたりできるんだ。

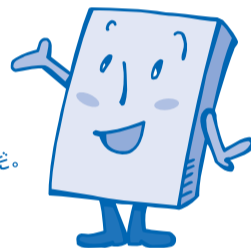


工場生コンクリートを製造

生コンクリートは、セメントと骨材(砂や砂利)に水と混和剤を加え、練り合わせて作るんだ。

これらの作業は、すべてコンピュータで厳密に制御・管理して生産されているんだよ。

生コンクリートをミキサー車に積んだら工事現場に向けて出発だ。



ミキサー車で現場まで輸送

福岡地区生コンクリート協同組合では、生コンクリートの品質と環境に配慮して、綿密な計画をたて30分輸送・30分荷卸し(打込み)を実践しているんだ。



より安心で安全、高品質なコンクリートになるために30分の輸送、30分の荷卸し(打込み)、30分の余裕が大切なんだ。

福岡地区生コンクリート協同組合が生コンクリートの鮮度にこだわる理由は・・・

輸送・荷卸し時間が長いと固くなっちゃうよ！

柔らかくしようと水を加えても固まった後で、ヒビ割れや剥がれ落ちの原因に！



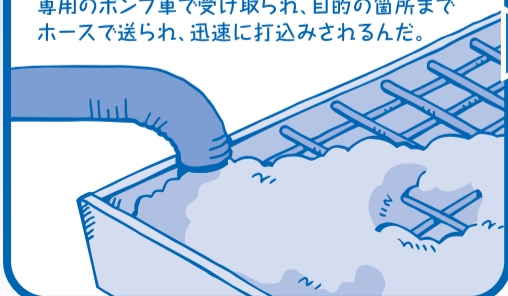
CO2削減！※1

適正積載量で安全運行！※2

路上洗車なし！※3

工事現場に到着したらすぐに荷卸し(打込み)作業開始！

生コンクリートは、工事現場に到着するとすぐに専用のポンプ車で受け取られ、目的の箇所までホースで送られ、迅速に打込みされるんだ。



工場に帰って、洗車して終了。お疲れ様でした！



きちんと計画しているから、ミキサー車についた生コンクリートが固まらず、路上洗車をしなくて済むんだ。

●左記の※1～3をもって「サンマル・プロジェクト」に取り組みます。

協同組合のお仕事についてわかってくれたかな？
他にも協同組合では品質管理監査の実施など、信頼される生コンクリートの安定供給につとめているんだ。
もっと知りたい方や質問のある方は協同組合のホームページを見てね！
メールによるお問い合わせや質問もお待ちしております。